



福岡医発第2850号 (地)

平成25年 3月 5日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会

会長 松 田 峻一良

(公印省略)

平成25年度における先天性代謝異常等検査かかる周知について

福岡県、北九州市、福岡市では、標記検査につきまして、新たな検査法（タンデムマス法）の導入を検討されており、その実施に係る予算案を議会に提出されています。

そこで、現在想定されている実施内容について、別紙のとおり周知依頼がありましてので、貴会におかれましても、本件についてご了解いただくとともに、貴会会員へ周知方よろしく願います。

なお、

- 1) 新たな検査実施体制や産科医療機関においてご利用いただくチラシについても現在検討されており、後日、改めてお知らせいたします。
- 2) 先天性代謝異常等検査対象疾患に関する研修会が、平成25年3月22日（金）14時より吉塚合同庁舎において予定されています。福岡県より案内がありしだい改めてご連絡申し上げます。

小郡三井医師会より

母子保健担当理事 松行眞門
会長 蒲池 壽

「公印省略」

24健第5153号

平成25年2月25日

社団法人福岡県医師会会長 殿

福岡県保健医療介護部健康増進課長
北九州市子ども家庭局子育て支援課長
福岡市子ども未来局子ども発達支援課長

来年度における先天性代謝異常等検査に係る周知について（依頼）

日頃より母子保健対策の推進については、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、標記検査につきましては、別紙のとおり新たな検査法の導入による対象疾患の拡大を検討してきたところであり、その実施に係る予算案を議会に提出しているところです。

つきましては、現在想定している実施内容についてあらかじめお知らせしますので、貴会所属の産科医療機関及び小児科医療機関への周知について、特段のご協力をいただきますようお願いいたします。

なお、新たな検査実施体制や産科医療機関においてご利用いただくチラシについても現在検討しておりますので、後日別途お知らせいたします。

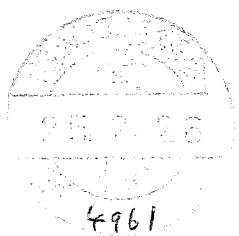
問い合わせ

福岡県保健医療介護部

健康増進課母子保健係 大庭

電話 092-643-3307

E-mail ooba-t1421@pref.fukuoka.lg.jp



新しい先天性代謝異常等検査法の導入について

1 新しい先天性代謝異常等検査について

放置すると、やがて神経障害が出たり、生命にかかわるような障害が発生する可能性のある生まれつきの疾患（先天性代謝異常等）について、近年、1回の分析で多くの疾患を調べることができるタンデムマス法という新しい検査法が開発された。この検査は、従来の検査で使用している血液ろ紙をそのまま使用できるため、保護者や児の負担が増えるわけではない。

このタンデムマス法を来年度4月1日から福岡県、北九州市、福岡市が同時に導入し、現行の対象6疾患に加え、新たに検査可能となった13疾患について検査することを検討している。

【現行の対象疾患】

- フェニルケトン尿症 ○楓糖尿症 ○ホモシスチン尿症
○ガラクトース血症 ○先天性副腎過形成症 ○クレチン症

【タンデムマス法検査対象疾患】（※は現行の対象疾患）

＜アミノ酸代謝異常＞

- フェニルケトン尿症（※） ○楓糖尿症（※） ○ホモシスチン尿症（※）
○シトルリン血症1型 ○アルギニノコハク酸尿症

＜有機酸代謝異常＞

- メチルマロン酸血症 ○プロピオン酸血症 ○イソ吉草酸血症
○メチルクロトニルグリシン尿症 ○ヒドロキシメチルグルタル酸血症
○複合カルボキシラーゼ欠損症 ○グルタル酸血症1型

＜脂肪酸代謝異常＞

- MCAD欠損症 ○VLCAD欠損症 ○TFP/LCHAD欠損症 ○CPT1欠損症

2 検査実施体制について

新しい検査法の導入によって、新たな対象疾患が加わることから、現行の検査実施体制を踏まえ、精密医療機関や疾患に関する情報を整理し、平成25年度以降の検査実施体制を検討している。

3 その他

先天性代謝異常等検査対象疾患に関する研修会（別途ご案内を予定しています）

日時：平成25年3月22日（金）14時～

講師：福岡大学医学部小児科 廣瀬主任教授

場所：吉塚合同庁舎803会議室

対象：市町村、保健所、産科及び小児科医療機関